

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（販売 促進担当）	販売量の動き	・3か月前の売上は前年割れであったが、3月からはクリアしている。店の中で前年をクリアしていない商品が数えるほどしかなく、全体として良くなっている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・今月は300メートルほど先にあるコンビニが駐車場を広げ、店舗も改装してオープン、その後店の前の弁当屋もリニューアルオープンした。集客装置がリニューアルされ、地域の活性につながったという感じで、来客数は落ちるところか115%ほどに上がり、売上も平日最高が出ている。
やや良く なっている		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・天候不順が響き、婦人服を中心としたアパレル関係の動きがまだ良くないが、近郊に出店したショッピングセンターの影響が薄れてきたことや、今月初旬に開催した特別販売会の売上の上乗せ分により好調となっている。
		スーパー（統 括）	来客数の動き	・業績が向上し始めて約1年になるが、客単価も下げ止まり、来客数は前年を上回っている。パブルのころと違い、浮かれ気味な消費動向ではないので、業績の好調さは根強いと感じている。
		衣料品専門店 （店長）	販売量の動き	・購買客数は前年同月比で10%下がったが、客単価が増えたために、売上高は10%上昇している。
		住関連専門店 （仕入担当）	販売量の動き	・園芸商材を中心に前年の数値を上回っている。新店の数字も上積みされ、順調に推移している。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・最近、特に昼の50代後半の女性客が増えてきている。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・競合店の一つが廃業し、今まで比較的少なかった業種、団体からの受注が増えている。お試し期間的な感もあるが、内容をより充実させて顧客化を図っていければと考えている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は歓迎会などで週末の利用客は増えたが、1次会ぐらいで終わりにして帰宅する人が多く、深夜の客は少ない。
変わらない		商店街（代表 者）	お客様の様子	・来店客の変動は特にはないが、ネット通販を行っている店舗の場合、CDやDVDなどの値引き、送料無料などのサービスで大手のショップに客を取られる傾向がある。来店客からもネットでは25%値引きのDVDがあるなどと言われる場合もある。個人経営の店舗などでは値引き競争はできない。
		一般小売店〔金 物〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前の冬場と比べれば、工事関係の動きが活発であるはずだが、今一つ盛り上がりず、3か月前のあまり良くない状況と変わらない。
		スーパー（統 括）	来客数の動き	・既存店舗の売上高が前年同期比を5か月連続でクリアし、今月も25日現在で105%と伸びている。特に、生鮮食品の中で惣菜を中心とした食品の伸びが顕著である。食品の1点単価、1人当たりの買上点数は横ばいであるが、買上客数の伸びが寄与している。
		高級レストラン （店長）	販売量の動き	・月の前半は天候不順の影響で売上があまり伸びず、後半はゴールデンウィークを控えて客が出費を抑える様子が強く感じられる。
		旅行代理店（経 営者）	それ以外	・景気は3か月前と変わらず悪い状態である。大手企業の決算が発表され、空前の利益を上げているという会社もあるが、当地方はまだ非常に厳しい状況である。勝ち組と負け組と言われているなかで、地方そのものが負け組であり、構造的な不況の中で低迷している。
		旅行代理店（副 支店長）	お客様の様子	・旅行業界にとってゴールデンウィークは一番受注、来店が多い時期なので、客の出入りや成約は通常の月よりも多めであるが、来客数が多いだけで成約、売上は前年とあまり変わらない。年々中抜きで直接客が電話やインターネット等で手配するケースが増えている。
		ゴルフ練習場 （経営者）	単価の動き	・商品単価の高い物の売行きは依然として悪く、低単価の商品を数多く販売しないと売上が厳しい。

	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月は天候に恵まれ、特に土日の天気が安定したため、入場者が確保できている。一方、上昇していた会員権相場は、若干下降気味である。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・4月は予約が低迷し、客単価も上がらなかった。選挙の影響もあってか、特に平日の予約が弱い。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・4月は入学式等の行事が多かったこともあり、前月比で良い売上の日もあったが、悪い日もあり、トータルでは変わらなかった。サービス券の配布などで、客足を伸ばそうとしているが、値引きをした分だけ売上が減り、我慢の経営を強いられている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・客からの照会、問い合わせ等、これから仕事に結び付く可能性のある話がほとんどない。周りを見渡しても、建築現場を見つけることさえ、難しいような状況である。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・景気が若干悪くなっていることや飲酒運転の規制強化により、町の飲食店、特に飲み屋の店じまいが多くなっている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅ローン金利の上昇傾向により客が動くかと期待していたが、現実にはほとんど変わっていない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・中心商店街にオープンするショッピングモールの工事が着々と進んでおり、求人募集チラシの新聞折込などムードが上がっている。その反面、昨年10月に開店した商業ビル内の食品スーパーは今月で撤退しており、入れ替わりが激しい。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・駅前通りというのに、土、日には人通りがなく寂しい。商店街といえないようなほど、人が来ない。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・全体的に大型ショッピングセンターの影響が大きい。住民は皆珍しさもあって一度は出掛けているようである。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・様々な仕掛けをしても客の購買意欲につながらない。デジタル機器も必要に迫られての購入である。
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・あちこちに大手スーパーが進出している影響からか、とにかく来客数が激減している。来店しても客単価が低い。
	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・郊外のショッピングセンターに目が向き、街中に来る人が目立って少なくなっている。客の動きが非常に悪い。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・商品購入のポイントが変化しているのか、販促にあまり左右されなくなっている。安いから買ってしまおうといった簡単な動機ではなく、慎重に品定め、検討してから購入している。見た目が安物そうだと触手が伸びない。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・4月中旬までは例年並みの販売量があったが、下旬はゴールデンウィークに向けての整備、点検のみとなっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数は前年比75%であり、3か月連続での前年割れである。
	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・今まではチラシを出せばある程度客が来たが、最近では本当に安い目玉商品がないと来てくれない。オイル交換などの特典をつけても来なくなっている。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・広告宣伝に工夫をこらしているものの、販売台数が極端に落ち込んでいる。景気が良く、販売台数が伸びている都心部と違い、景気は悪く、販売台数は伸び悩んでいる。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・12月以降、通行量が落ち込んだまま戻らない。特に、夜間の落ち込みがひどく、戻り気配がない。
	その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	販売量の動き	・週末はそれほどでないが、平日の売上が少し落ちている。インターネットカフェはあまり変わらないが、ゲームセンター部門が特に落ちており、その分だけ全体的にマイナスとなっている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新しい期が始まって1か月がたつが、スローペースの出だしとなっている。来客数も増えない。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・特別用事がある客は別にして、通り掛かりに立ち寄る客はほとんどなく、街も閑散としている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・朝夕のラッシュ以外、来客数が激減している。深夜に掛けて店舗前の道路に車がほとんど通らなくなったことが大きな原因である。

企業 動向 関連	良く なっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は順調である。5月分はこなしきれないので、6月に回すことにしている。
	やや良く なっている	食料品製造業（営業統括）	取引先の様子	・大河ドラマの影響で来県者が増加しており、ワイナリー全体の売上は順調に伸びている。ただし、メーカーにより、関連商品を持っているところは大きく売上を伸ばしているが、そうでないところとの差が生じている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年の特注品のほか、別特注品の受注があり、対応に追われている。
		その他サービス [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、増加傾向にある。引き合い等も多く、今後収益の改善が図れることを期待している。
	変わらない	一般機械器具製造業（生産管理担当）	競争相手の様子	・先日、当社の所属する業界の会合に参加したが、異口同音に忙しい状況が続いているという話をしている。
		新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量はほぼ前年並みである。県内のチラシ出稿量は軒並み前年を割っているが、当地域は前月オープンした大型複合店のおかげで前年を維持できている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・物流及び物流関連、小売関連、精密機械等の業種で設備投資意欲がある。ただし、先行きの環境を見通してのことであり、業績への反映はまだ先である。
	やや悪く なっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・試作や見積等の物件は出てきているが、コスト面等でいまだ成約できず、中小零細企業には厳しい状況が続いている。加工関係の事業は安定期に入ったと聞いているが、まだ周りで景気が良いという話は1つも聞いていない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3月までは受注が好調で、工場もフル生産であったが、4月に入り仕事量が極端に減っている。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・管理しているアパートの空室が増えている。
広告代理店（営業担当）		受注量や販売量の動き	・新年度に入っても販促予算を絞る動きが多い。クライアントは費用対効果を考える時に大きな効果を求めるケースが多く、求める効果に見合わない判断した場合、それ以降の宣伝を縮小するケースが多くなっている。	
悪く なっている	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・店頭での小売が売れていないため、2月から売上が落ちてきている。今月あった大きな展示会の売上は前年比で15%減少している。例年春先は商品の動きが活発になるが、マーケットは異様に静かである。	
	輸送業（経営者）	それ以外	・中小零細企業の畑に大手が参入してきて困っている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人は前年同期比で新規、有効共に約10%増加している。就職件数も前月比で約34%増加している。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人募集広告は3か月前よりも幾分減ったように見受けられる。生産関係は今までどおりの体制、もしくは増員を希望するところもあるが、請負単価は大分下げられている。しかし、賃金は50～100円程度上がってきている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・地元の中堅企業、大手企業の新卒採用が例年より多くなっている。小企業、零細企業は正社員というより、パートの募集が目立つ。そのなかでも、小売業を含めたサービス業の募集が多い。
		新聞社 [求人広告]（担当者）	雇用形態の様子	・依然として正社員の求人数は少ない。契約社員、派遣社員の冷遇が改善されない。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・平成19年3月の紹介就職者数は前年同月比で若干の増加となっている。これで14か月連続で前年同月を上回ったが、増加幅は縮小している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数自体は増加しているが、求人募集の理由が欠員補充となっているものが多く、派遣求人の増加の影響も受けている。また、中小零細企業からの求人申込は減少傾向を示している。

	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・専門職、技術職、派遣の求人が目立つが、変化はない。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業の早い動きに学生が追いつけていない。求人はあるものの、学生の動機付けの未熟さや動きの鈍さにより、滞った状態が続いている。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-